

V265c JVO 開発状況：VO クローラデータベースの拡張

白崎裕治, Christopher Zapart (国立天文台)

JVO 開発グループでは、国立天文台が保有するすばる望遠鏡や ALMA, 野辺山望遠鏡の処理済みデータや、世界標準のアクセスインターフェイスを実装する Virtual Observatory (VO) サービスへの一元的なアクセスを提供する JVO portal (<http://jvo.nao.ac.jp/portal>) の開発を行っている。本講演では世界中の VO サービスから取得した観測メタデータの統合データベースである、VO クローラデータベースの開発状況について報告する。

VO クローラデータベースは 2019 年より JVO portal において検索サービスの公開を開始している。これまでは画像データに限ってそのメタデータの収集をおこなってきたが、2024 年度の開発においてスペクトルデータについてもそのメタデータの収集を開始した。これまでに 2 億件のスペクトルデータが VO を通じて収集され、JVO portal の VO クローラサービスより検索実行が可能となっている。波長毎の収集データ数の内訳は、可視光 1.4 億件、赤外 5 千万件、ミリ波 5 百万件、紫外 2 百万件、X 線 60 万件、電波 50 万件 等、となっている。

スペクトルデータの収集に加え、VO サービスごとに異なる名称でメタデータとして登録されている望遠鏡名を統一した名前に置き換えることで、望遠鏡名による検索が行いやすくなった。